

# 暮らしに希望を HOPE

市政レポート 日本共産党秋田市議団 Tel 888-5413 Fax 866-0998

## 2月議会（2/14～3/19）のご報告



令和6年度一般会計予算には、子ども福祉医療制度の所得制限の撤廃と拡充、水害被災者の「地域支え合いセンター」の運営など評価できる事業が含まれていますが、来年度の財政調整基金、減債積立金の二つの基金残高が10億円を割る厳しい財政状況です。

このような状況の下で、必要性や実現可能性などに疑問が深まっている外旭川地区のまちづくり事業は見直すべきです。また、4月から349施設の利用料が引き上げられました。市民が気軽に施設を利用できるよう努めることが行政としての役割であるべきです。他にも、家庭ごみ手数料の徴収が続けられていますが、見直しをおこない、目的と手法を改めて検討すべきです。

国民健康保険事業会計では、「国保税が高くて大変」という加入者の声に市は応えていません。収入のない18歳までの均等割り分を無料にするためには5400万円、就学前までの均等割り分は630万円です。負担を軽減できます。



園芸振興センターのイチゴ栽培を見学

2023年11月に予算編成・施策について55項目の要望書を提出し、いくつか反映されました。

- ◆ 特別養護老人ホームの増設  
今後203床を増設する予定
- ◆ 子どもの医療費を18歳まで所得制限と窓口と負担をなくすこと  
県が高校生世代まで所得制限の撤廃を検討。8月から制度拡充に向けて準備
- ◆ 老人いこいの家の継続と充実  
可能な限り継続する
- ◆ 住宅リフォーム助成制度の継続  
居住環境の向上・建設業関連業界への経済波及効果・災害復旧支援としての側面もあることから引き続き実施



## 外旭川地区まちづくり



### 赤字前提のスタジアム

「秋田市外旭川地区まちづくり基本計画」「秋田市卸売市場再整備基本計画(素案)」について、それぞれ総務委員会と教育産業委員会で議論されました。

「新スタジアム整備計画」がそれぞれの計画に盛り込まれたことによって、新たな課題が生まれています。

「新スタジアム整備計画」にはブラウブリッツ秋田が中心となってスタジアム整備会社を設立し、県と市の支援を受けて、新スタジアム整備と運営を行うことを想定しており、想定事業費・財源として、整備費、維持管理・運営費、事業収入が記載されています。しかし、計画段階から約1億7000万円の赤字になると見込んでおり、報道では公設の場合は土地使用料と固定資産税が免除されても赤字は約7000万円になるとしています。卸売市場再整備によって、施設使用料は跳ね上がり、平均1.57倍になりますが、新スタジアムの使用料収入が市場に入らなければさらに高くなります。

### 余剰地収入なければ

重い使用料になる市場再整備

### 目の前の課題に手を付けず

集客目的のモデル事業

赤字を前提とした新スタジアム整備計画によって、市場再整備にも暗雲が立ち込める状況となりました。三位一体の外旭川地区まちづくりは一度立ち止まり、秋田市の課題解決のために着実な一手を打つべきです。

いま、物価高騰と資材不足、人口減による消費力の低下に歯止めをかけ、市民の暮らしと農業を含めた地域の産業を支える市政が求められているのではないのでしょうか。



花き棟屋上から市場東側を視察

### 議会報告・市政懇談会のご案内

日時：5月16日(木) 13:30～15:30

場所：中央サービスセンター 3階 洋室4